

2013.12.17 宮脇淳

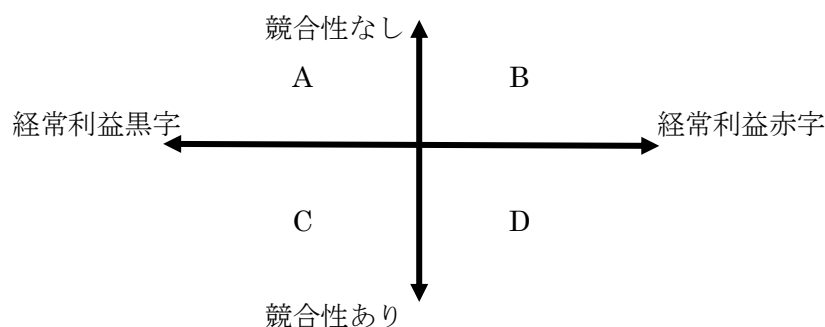
地方公共団体の第三セクター等の活用等に係る論点

1.目的

第三セクター等の「活用」についてガイドラインを策定するために、全国の「成功事例」について、一定のテーマに沿って事例収集と検討を行う。これにより、「他の地方公共団体の参考となる点」について整理、取りまとめを行い、地方公共団体に周知することとする。

2.先進的成功事例の抽出方法

地方公共団体・第三セクター等に対する資料収集・ヒアリング、総務省「第三セクター等の状況に関する調査結果」の分析等幅広い情報収集を行う。情報収集や分析では、地方公共団体の新たな展開に資することから、一定の客観性・普遍性を確保するため、第三セクターの事業面に着目し競合性と経常収支によるグループ分けを行う。



その上で、第三セクター、地域の多様性に着目し先進的特性を以下に分け補完整理する。

- ①市町村の圏域を越えて活動している第三セクター
(候補例) かずさクリーンシステム、智頭鉄道、岩手県産等
- ②地方公共団体直営や民間経営から第三セクター形式へ転換した第三セクター
(候補例) ひたちなか海浜鉄道等、
- ③地域にとって必要不可欠な業務を担っている第三セクター
(候補例) 温泉町夢公社、サンアクア TOTO、鹿島埠頭等
- ④大幅な黒字を計上している第三セクター
(候補例) 越谷コミュニティプラザ等
- ⑤経営改善の取組を行った第三セクター
(候補例) 遠野ふるさと公社、神戸空港ターミナル等
- ⑥地域においてユニークな取組を行っている第三セクター
(候補例) 蓬田紳装、加悦ファーマーズライス等

以上のほか、地域雇用の拡大等マクロ的政策効果は、別途必要に応じて補完整理する。

3.今後の予定

年明け、次回研究会に向けて調査を行い 80 前後の先行事例について整理する予定。